

地域版

SASEBO 99 Talk
M Cafe

令和7年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和7年8月1日(金)14時から
場所	小佐々地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	1. 地域の生活や産業を支え緊急時に対応可能な道路の整備について 2. 地域活性化対策及び自治協議会の運営について
出席者	地域参加者10名、市長ほか関係者4名 合計14名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域の生活や産業を支え緊急時に対応可能な道路の整備について

地域参加者

- 新田地区と黒石地区周辺では、渋滞が慢性化している。渋滞の原因は、道路網の脆弱性と、補完する代替道路がないこと。事故や冠水が発生した場合、緊急車両が通行できないリスクも考えられる。
企業の協力等により、以前よりは渋滞の解消が進んでいるように感じられるが、地域住民の生活や経済活動を支える道路として、企業活動を支える産業道路として、緊急時の迂回道路として、ウエストテクノ佐世保または小佐々工業団地付近から佐々町・佐世保中心部へのバイパス整備を希望する。
- 時差出勤や信号の調整などによって、以前と比べれば渋滞は緩和しているが、朝は集中することがある。社員数も増加し、社員のほとんどが私有車両での通勤になっているので、抜本的な改善は見られていない。集中する時間帯は朝夕だが、そこを迂回するような道路がないのが今の現状。
- サンビレッジ佐々のそばに、相浦に繋がるアクセス道路ができています。渋滞解消や緊急時の問題解消のために、小佐々スポーツセンターの方から橋を架けて道をつなげることをご検討いただければ。
- 消防団の分団長をしている。ほかほか弁当からスポーツセンターまでよく冠水している。ポンプ場によってどれだけ効果があるか期待している。
- 西消防署の佐々出張所が移転した結果、小佐々への救急車両の到着が遅れているという情報もあるので、その辺も踏まえた上で道の整備をしていただきたい。見返橋からスポーツセンター間で、大きな事故があったりして車両が通れなくなった場合は、江迎の方から救急車両が来ることになると思うが、急病人が出たときや事故が発生したときに本当に間に合うのか懸念される。迂回路という形をもうちょっと前向きに考えていただきたいというのが切実な訴え。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域の生活や産業を支え緊急時に対応可能な道路の整備について

土木部長

- 現在、田原黒石線が災害で通行止めとなっており、皆様方に長時間不自由な思いをさせて申し訳なく思っているが、令和8年3月の完了を目指して鋭意工事を進めているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

工業団地付近の県道の一部箇所において、冠水が以前あったと聞いている。4ヶ所のポンプ場で冠水対策をしており、ポンプや関連機器の更新や、小島ポンプと港町ポンプで自動運転機能を整備するなどして、冠水に備えて体制を整えている状況。浸水に対しても、データ蓄積のために、各ポンプ場に水位計も設置している。

冠水した際に道路が全面通行止めになった事例は、現在のところ把握していない。

県や江迎警察署など関係機関にも確認したが、通行止めしたことはなかったと聞いている。しかし、昨今の異常気象からもいつ何があるかわからないので、関係機関としっかり連携を図って対応していきたい。

迂回路の新設には数十億の事業費がかかる。交通渋滞について把握しているし、交通量調査もさせていただいている状況。現在西九州自動車道路が延伸をしている。その整備・延伸に合わせつつ、交通の需要・交通量の変動もあるのでその辺を注視していきたい。現在のところは、ウエストテクノさんのいろんなご尽力もあって、渋滞が少し軽減したというお話もあり、長崎県としても右折帯を長くしたり信号処理の時間を長くしたりして、調整をさせていただいている。どこの地区も、第一に同様の道路整備のご要望がある。お金の話になって申し訳ないが、我々としてもできるところはさせていただくというようなことで考えているのでご理解いただけたら。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域の生活や産業を支え緊急時に対応可能な道路の整備について

市長

- 渋滞について、何とか対策を進めて行きたいと思うし、長きにわたって新たな道路の建設も含めてご要望があったと承知しているが、先ほど土木部長が申し上げたとおりに、建設費の問題もあり、現在の段階では難しい状況もある。各企業におかれては、時差出勤の導入など、渋滞緩和にご協力いただいていることに改めてお礼を申し上げたい。まずは渋滞対策に早急に対応しなければならないということで、先ほど話があった信号や右折帯などソフトの部分で改善しながら、なんとか渋滞を防ぐための施策を今講じている最中である。両部会長からお話があったように、大変難しい問題があることを改めて認識した。また、先ほどあったように、西九州自動車道路も今年度松浦ICから平戸ICまで開通するし、その後佐賀ICまで延伸する時期もくると考えている。

一方で、ウエストテクノ各企業の皆様方、各本社幹部の皆様方にもお会いして、事業の拡張をお願いしているところで、そうした意味からも、またこの道路に対する負荷がかかる可能性が十分に想定される。そうしたことも踏まえながら、今後の道路建設も含めて検討していきたい。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域の生活や産業を支え緊急時に対応可能な道路の整備について

地域参加者

- ほっともったのところの交差点の信号を取り払って、ランドアバウトにできないか。そのような検討されたことはあるか。面積が足りるかはわからないが、信号がなくすいすい行けるので、結構渋滞が解消されるのではないかと思います。そういう検討もしていただけませんか。

土木部長

- 該当の場所では、おそらく検討していないと思う。多分大都市圏では、ランドアバウトを積極的に取り入れているところはあると思う。あの場所は佐世保市のみならず県道でもあるので、お受けした意見も県の方と共有させていただいて、可能性についても含めて検討させていただければと思う。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化対策及び自治協議会の運営について

地域参加者

- コミュニティセンターを拠点とした地域活性化計画を今練っている。
ひとつめは、現在未使用のコミュニティセンター3階を活用した子育て支援及び教育支援に関する事業の展開。自治協議会が主体となって、主に小・中学生を対象に、放課後学習や子ども食堂、自習室の提供などを実施する。コミュニティセンターの講座を活用した体験学習など、コミュニティセンターの協力を得ながら、コミュニティセンターの運営と一体的に推進していければと思う。
以前実施した住民アンケートで、「放課後の居場所づくり」が最も要望が多い結果となり、現在小佐々地区で実施している地域と学校の連携事業、コミュニティスクールや地域未来塾などを踏まえて検討を重ねた結果、コミュニティセンターの3階を活用して放課後学習室をメインとした子どもたちの居場所を作ろうと計画を立てている。こうした事業を進めることで、様々な年代や職業の方々が集まって、コミュニティセンターが人と人、人と地域を繋ぐ地域コミュニティの活性化を

はじめとした新しい発想による新たな事業展開に繋がっていくことを期待している。事業主体は、現在の自治協議会から移行したNPO法人自治協議会としたいと考えているが、観光案内所の運営や税の優遇制度を考慮して、法人形態については今後県や市のご指導を仰ぎながら理事会で審議・決定する予定。

次に旧コミュニティセンターの跡地活用について。佐世保市には建物の解体後、整地していただいて感謝している。令和4年度から市が推奨するコミュニティビジネス推進事業に着手し、観光記念品の販売など収益事業に取り組んで、活動の原資となる自主財源の確保に努めてきた。その取り組みを含めて、地域内や地域間での交流活動をさらに進展させるため、観光案内所の整備や様々なイベントの実施を計画している。このような活動の場として、旧コミュニティセンター跡を有効活用し、地域コミュニティの活性化に繋がっていききたい。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化対策及び自治協議会の運営について

地域参加者

- 会長からお話があったように、コミュニティセンターの3階が全く使用されておらず、もったいない。
小佐々3校のコミュニティスクールを、学校と一緒に立ち上げて10年目になるが、結構成果は上がっている。自治協議会も地区のコミュニティを豊かにしようと、様々な場所を使いながらいろんな活動をしている。先々しっかり学校のコミュニティと地域のコミュニティが一体となった活動ができる小佐々町であってほしいと思う。
田舎で子どもの居場所は確かにないので、勉強したい者は「コミュニティセンターの3階に行けばできる」というような場所を設けてあげて。せっかく空いている場所を子どもたちの育成に使えるようにお願いしたい。
- 小佐々小・中学校で、長年読み語りや丸付け先生、今年から1時間の授業サポートの活動をしている。一昨年まで学童の支援員をしていて、子どもたちとの関わりを常々持ってきた。このコミュニティセンターを活用した地域活性化計画の資料をいただいたときに、小佐々の子のために3階を活用して学習支援やサポートができる場所を作れるんだと私自身がすごくわくわくした。私たち地域の者が、小佐々の子たちと一緒に活動できる場所ができるんだとわくわくしたのを覚えているので、ぜひ実現していただきたい。
- コミュニティセンター入口のフロアで、勉強している子どもたちの数が最近増えてきた。席が足りないのではないかというような状況でも、子どもたちが集まって勉強している。そういう姿を見ると、3階に勉強できるスペースができると、子どもたちにとってもいいことだと思うので、ご配慮願いたい。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化対策及び自治協議会の運営について

市民生活部 副部長

- こちらの建物の3階は、合併前は主に議会のフロアとしてご活用されていたと聞いている。合併後は職員課の研修会場として、令和5年9月まで活用させていただいた。都合によっては、今後も活用することがあると聞いている。現在はコミュフェス開催時に、展示エリア等としてご活用いただいたり、3階まで使って避難所対応をしたこともある。空調の補修もして、以前のままの状態だが使えるように維持させていただいている。そうした中、空いているところの有効活用というような検討はできると思う。
旧コミュニティセンター跡地でミニ観光案内所としてのご活用については、令和6年9月に自治協議会からご要望をいただいて、跡地についてはお貸しするというご回答をいただいている。今後ご活用いただくということで対応させていただいた。

市民生活部長

- コミュニティセンターの活用については、市民生活部を中心に、他部局のお知恵等もお借りしながら検討させていただければと思う。

市民生活部 副部長

- 現在1階のオープンスペースのような所に、お子さんが集っていらっしゃるという状況がある。活用としては、コミュニティセンターの講座室も借りられる状態であれば、地域への開放といったこともできるかと思うので、コミュニティセンターの方もご活用いただければ。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化対策及び自治協議会の運営について

市長

- 小佐々地区におかれては、全国でも先駆けてコミュニティスクールに取り組んでいただいております。確実に多くの成果を生んでいただいたこと、国から表彰をお受けになれるなど素晴らしい活躍をしていただいていることに、心から敬意と感謝を申し上げます。

教育支援部会長からお話があったように、読み語り等も継続していただきながら学習支援もしていただいております。教育支援部会の皆様方にも心から感謝申し上げます。

そうした中で、今回このようなサード・プレイスこさざの運営計画並びに小佐々コミュニティセンターの運営についてご提案いただきましたが、素晴らしい綿密な計画をしていただいております。私も就任以来、子どもの居場所作りを心がけており、現在多くの高校生に勉強に来ていただいているように、市民の皆様方のひとつの憩いの場として本庁13階をご活用いただいております。今各地区のコミュニティセンターや支所の改修を行っている地区もあるが、子どもの居場所

を確保していこうと、新しく作る場所については子どもたちから高齢者の皆様方まで、すべての地域の皆様方に寄っていただけるような場所を作るように指示している。

小佐々は、すでにそういう子どもたちが集まる場所としてこのコミュニティセンターがあり、先駆けてしていただいていることをさらに拡張したいということで、大変素晴らしいと思う。私も持ち帰って教育委員会や子ども未来部の各担当に検討を指示していきたい。

小佐々のコミュニティセンターについても、持ち帰って検討したい。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

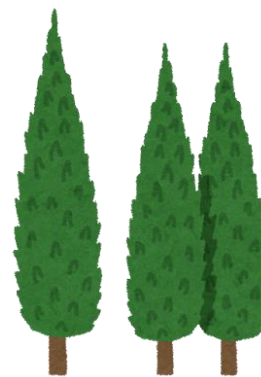
テーマ:地域活性化対策及び自治協議会の運営について

地域参加者

- 地域活性化ということで、観光の面から。冷水岳の陰切ができておらず、観光バスにあたったりしている。白線は消えている。以前は多くの人を訪れる観光名所だったが、どんどん寂れていっている。
他にも、西海国立公園が寂れてしまっているのので、大悲観や神崎最西端の方の公園の方の道路も陰切、整備をしていただければと思う。新しいところばかりではなく、観光案内所にしても、せっかくある財産を有効に。
- 市道に中央線がなく、白線の外側も消えているのでなんとかしていただきたい。市道だけでなく、県道も同様。

土木部長

- どの地区も陰切や草刈りの要望が多い。かなり多いので、その都度対応させていただいているものの、どうしてもご要望どおりにならないところもある。西部工事事務所と立会等々させていただきながら、対応できるところは迅速に対応させていただきたいと思う。
白線に関しても、場所を確認して対応させていただければ。
- 予算確保のため、しっかりと努めていく。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化対策及び自治協議会の運営について

市長

- 北から南、九十九島すべて活かしたいという思いであり、北九十九島エリアの活性化ということで、空家活用も含めて検討をしているところ。すでにコサザキタクブの皆様方とも意見交換をさせていただいて、地域の皆様方、特に若い皆さん方の力を活用しながら、観光エリアの活性化を図っていきたい。

既存の観光施設を有効活用してほしいということで、先ほど土木部長が申し上げたとおりに、道路の問題も含めて改善に努めていききたい。九十九島西海国立公園がもっと活性化するように、全力を挙げて頑張っていきたい。

地域参加者

- 市長が冷水や九十九島の素晴らしさをわかってらっしゃって嬉しく思う。本当に佐世保市の財産だと思うのでよろしく願いたい。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 旧保健センター跡は全く使用しておらず、老朽化も進んでいる。公民館と一緒に取り壊した方が経費削減になったのではと不思議に思っていた。部署が違うという話を聞いた気がするが、同じ市の所有物。他の所でも同じようなことがあるかと思うので、そういうときこそ縦割りばかりでなく横の協力もしていただければ同様のことは起きないのではないかと思う。
- 敬老パスは非常にありがたいが、こちらではバスがどんどん減便されて使えるバスがない。市内のバスが多いところの方たちは使い勝手がいいかもしれないが。いくらかでも乗合タクシーに活用できるチケットのようなものを敬老パスの代わりに出していただけたらありがたい。

市長

- 敬老パスは長年続けてきた制度だが、利用者が限られているのではという指摘を、市民の皆様方並びに市議会からもいただいております。今諮問をしている。副会長がおっしゃったように、バスの減便で地域の皆様方の足が確保できていないため、空白地域においてはデマンド交通や公共ライドシェアで埋めていきたいと考えている。そうした新しい交通手段ができているにもかかわらず、使えるのがバスに限られては不平等だというのは当然なので、そうしたことや松浦鉄道についても踏まえた上で、多くの皆様方にご利用していただけるような形に見直しを図っていければと思っています。



令和7年度小佐々地区 意見交換内容(要旨)

